

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年7月22日
明治大学の所属学部・研究科	文学部(学部/学科/研究科/専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年6月27日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	パリ第3大学(ソルボンヌ・ヌーベル)(日本語名) フランス語(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語/
留学期間	2023年9月～2024年6月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):芸術メディア学部 (現地言語での名称):UFR Arts & Médias  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:9月中旬～12月下旬 2学期:1月中旬～5月上旬 3学期: ～ 4学期: ～
学生数	約16000人
創立年	1970年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料	-	-円	
宿舍費	5,300	840,000 円	
食費	1,800	288,000 円	
図書費	150	24,000 円	
学用品費	30	4,800 円	
携帯・インターネット費	190	30,000 円	Free という携帯会社の sim
現地交通費	382	60,000 円	1 年間の定期券( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	250	40,000 円	主に演劇鑑賞
被服費	100	16,000 円	冬物を少し購入
医療費	-	-円	
保険費	62	100,000 円	形態: 海外旅行保険
渡航旅費	2187	350,000 円	
ビザ申請費	50	8,000 円	
雑費	150	24,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計	10,651	1,784,800 円	

## 渡航関連

## 渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:シャルルドゴール 経由地:

復路 出発地:シャルルドゴール 目的地:羽田 経由地:

## 渡航費用

- ① 往復チケットを購入した場合  
航空会社:  
料金:
- ② 片道ずつチケットを購入した場合  
往路 航空会社:日本航空 料金:200,000  
復路 航空会社:日本航空 料金:150,000 ∴合計:350,000

## 航空券購入方法

- 旅行代理店(店名: )
- インターネット(サイト名:日本航空公式サイト)
- その他( )

## 滞在形態関連

## 1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

- 学生寮(寮の名前:CROUS)  アパート  ホームステイ

## 2)部屋の形態

- 個室  相部屋(同居人数 )

## 3)共有部分

- バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

## 4)住居を探した方法:

パリ第3大学が CROUS と提携して留学生向けに提供している寮に応募した。

## 5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮の応募結果の発表が7月の後半で、決まるまでとてもドキドキしたので、心配な方は並行して他の方法でも住居を探したほうが良いと思います。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし  
あり (治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。  
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし  
あり (問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

在仏日本大使館から届くメールの確認、フランスのニュースをこまめにチェックするなどしました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題はありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

外貨口座も作れる、ソニー銀行のデビットカードを普段使っていました。寮の家賃もこのカードで払えました。CAFからの住宅手当を受け取るために、現地の銀行も開設しました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

戸籍謄本。CAF申請に必要な出生証明書を在仏日本大使館で発行してもらうために必要です。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
22単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Littérature, art et société au XIX siècle	19世紀の文学、芸術、社会
科目設置学部・研究科	留学生向けの授業
履修期間	1学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Mme REGENT Mathilde
授業内容	留学生向けに提供されているフランス文化を学ぶ授業のうちの一つで、フランスの歴史と文化に大きな影響を与え続けている19世紀の社会について文学や芸術を通して学んだ。授業では19世紀を代表する文学作品を抜粋で読むなど、絵画の分析方法を学ぶなどした。
試験・課題など	グループごとに美術館を訪れ、絵画を見て分析し、レポートと音声ファイルを提出する課題があった。期末試験は授業で学んだ内容が複数の質問で問われる論述の試験だった。
感想を自由記入	19世紀の文学史、美術史の流れを再確認し、個々の作品についてより深い知識を得ることができた。グループワークは留学生の友達と仲を深めるよい機会だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Langue française - intermédiaire B1,2/B2,1		フランス語 中級 B1、B2レベル	
科目設置学部・研究科	留学生向けの授業		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Mme DARZI Emilie		
授業内容	1学期に履修した、留学生向けの週に1回のフランス語中級レベルの授業。フランス語学習者向けの教科書を用いながら、読む、聞く、話す、書く、の4技能をまんべんなく鍛えた。学期の前半にはB1レベル、後半にはB2レベルの内容に取り組み、複数の文章の要約など少し難しい練習にも挑戦した。		
試験・課題など	期末試験はDELFというフランス語検定試験の模擬試験が使われていた。		
感想を自由記入	ほとんど教科書の内容を進めていくのみの授業で、少し物足りなく感じた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Langue française - avancé B2		フランス語 上級 B2レベル	
科目設置学部・研究科	留学生向けの授業		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Mme SALIM Maral		
授業内容	2学期に履修したフランス語上級クラスの授業。1学期と同じく、フランス語の教科書を使って授業は行われたが、学生に意見を求められる機会が多く、よいスピーキングの練習になった。		
試験・課題など	期末試験にはDELFの模擬試験に加え、オリジナルの作文問題が課された。		
感想を自由記入	1学期のフランス語の授業より和やかな雰囲気での発言がしやすかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Histoire du théâtre 1/2		演劇史1、2	
科目設置学部・研究科	演劇学科		
履修期間	2 学期間		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回		
担当教授	M PIANA Romain / Mme KUNTZ Helene		
授業内容	学期と2学期に履修した、大教室で行われた学部1年生向けの演劇史の授業でした。パワーポイントで進められる授業で、時折画像を見ながら、演劇史の基礎を総合的に学んだ。1 学期は古代ギリシアから18世紀前半まで、2学期は18世紀後半から21世紀までの演劇の歴史を見ていった。		
試験・課題など	学期ごとに担当教授が異なり、テスト形式は1学期はマーク式、2学期は論述式だった。		
感想を自由記入	大教室の授業で、すこしがヤガヤした雰囲気だったが、それも含めてフランスの大学の空気感を楽しめた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Approche historique des textes et de la scène		テキスト、舞台の歴史的アプローチ	
科目設置学部・研究科	演劇学科		
履修期間	1 学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授	M SCHWAEGER David		
授業内容	大教室での演劇史の授業と対応した授業で、小教室で行われた少人数制の授業でした。18世紀から20世紀の演劇史に沿いながら、特に重要な作品などについて学んでいった。この授業には、戯曲を読み、論理的に分析し、レポートを書けるようにするという目標があり、そのための訓練も行われた。		
試験・課題など	期末試験は、その場で渡された戯曲の抜粋の分析を行うという試験だった。		
感想を自由記入	難易度の高い授業だったが、比較的良い成績を取ることができて達成感があった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Revue, cabaret, music-hall : anatomie d'une forme spectaculaire de la modernité		レビュー、キャバレー、ミュージックホール:現代性の舞台芸術を解き明かす	
科目設置学部・研究科	演劇学科		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	M PIANA Romain		
授業内容	レビューの起源である年末レビューからムーランルージュなどのミュージックホールに発展していく過程を学んだ。授業内では、年末レビューの戯曲を読むだけではなく、当時の衣装の写真を見るなど、ミュージックホールやキャバレーの映像を見るなどした。また、4月にはパリから電車で2時間のムーランという町にクラスで出かけ、国立舞台衣装センターの見学を行った。		
試験・課題など	期末試験は論述の試験で、それに加え、レポート課題も課された。		
感想を自由記入	レビューには以前から興味があったので、レビューに焦点をおいた授業を受けられて嬉しかった。		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
特にありません。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
明治大学大学院
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
明治の大学院文学研究科に内部進学する方だと、出願や面接が早い時期にあるので、早めに準備するといいかもかもしれません。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、  
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	出願準備、選考
留学開始年	1月～3月	奨学金応募
	4月～7月	寮の応募、航空券購入、ビザ申請・取得
	8月～9月	到着
	10月～12月	1学期、期末試験
留学/帰国年	1月～3月	2学期
	4月～7月	期末試験、大学院出願、帰国、大学院面接試験
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

フランスの協定校のうち、パリ第3大学は映画や演劇など芸術系の学部で有名なため、演劇をはじめとしたフランス文化を学ぶには最適だと思い、留学先として選びました。演劇学科の授業では、演劇の基礎的な知識や見方をしっかりと学ぶことができました。留学生向けのフランス語授業は週に1回のみでしたが、学部の授業や友人との交流、会話のワークショップへの参加などを行っているうちに、留学前とは見違えるほどフランス語力を上げることができました。パリ第3大学には大学の運営するチケット売り場があり、パリで行われるあらゆる演劇、ダンスのチケットをかなりお手頃な値段で購入でき、滞在中何度も劇場に足を運びました。パリ第3大学に留学される方は是非活用してほしいです。また、留学生の数が多くこの大学の特徴です。現地の学生たちも留学生との交流に慣れていまして、留学生向けのイベントも多数あり、留学生として過ごすのにとっても有難い環境でした。素晴らしい大学だったので、1人でも多くの学生に留学に行ってもらいたいと思っています。